

- 1 履修単位数 1 単位
- 2 実施日時
- 3 学級 第2 学年
- 4 使用教科書 現代高等保健体育（大修館書籍）
- 5 単元名 食品と健康（食品衛生にかかわる活動）
- 6 単元設定の理由

生活の利便性の向上に伴い物流網も発達し、様々な食品を誰でも気軽に手に取れるようになっている。膨大な数が流通している食品の安全性を確保するために法律等が制定され、行政や製造者は様々な活動を行っている。また、消費者は食品表示等を参考にしたりすることで、その安全性を確認し、自身に合った安全な食品を選択することができるようになっている。

本校の近辺にもスーパーやコンビニが複数あり、生徒達もよく利用し、様々な食品を選び、購入している。本校の生徒は、卒業後に一人暮らしを始める者も多く、自分自身で食品を選択する機会は、今後さらに増えていくと考える。そのような中で、食品の安全性の確保と健康の保持増進は密接に関わっていることを理解し、消費者として健康で安全な食品への意識を高め、様々な情報を判断しながら食品を選択する力を身につけさせたいと考え、本単元を設定した。

7 単元の目標

- ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であり、その安全性を確保するために様々な活動が行われていることを理解できる。
- ・食品衛生に関して、習得した知識を活かして健康被害の防止策を説明できる。
- ・話し合い等を通じて、食品衛生に関する自他や社会の課題を発見することができる。

8 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であり、安全性を確保するための法律等が整備され、様々な基準に基づき食品衛生活動が行われていること、また行政・生産者・製造者・消費者等がそれぞれの役割を果たすことが重要であることについて理解したことを発言したり、書いたりしている。	食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自分の日常生活に適用し、健康被害の防止策や健康を保持増進するための方法を筋道をたてて説明しようとしている。	食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、話し合い等を通じて、自他や社会の課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

9 指導計画

第1次 食品の安全性（1時間）

第2次 食品衛生にかかわる活動（1時間）・・・本時

10 本時の指導目標

- ・食品の安全性を確保するための法律等が制定され、様々な基準に基づき食品衛生活動が行われていることや、行政・生産・製造者、消費者の役割について理解できている。
- ・資料等から、消費者として安全な食品を選択するために必要な情報を見付けたり、判断したりできる。

11 本時の展開

時間	生徒の学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
導入 5分	・ 前回までの振り返りと本時の学習目標を確認する。	・ 前回の内容を振り返らせる。 ・ 本時の目標を確認させる。		
	何を基準に食品を選んでいますか？			
展開 35分	○食品衛生に関わる法律や行政の役割について理解する。	・ 食品衛生法等の法律に基づいて食品の衛生管理が行われていることを説明する。		・ 観察 ・ ワークシート
	・ 身近な食品衛生監視員の仕事について映像で確認する。	・ 食品衛生監視員の役割について、保健所の立ち入り検査のニュース映像を見せながら説明する。	・ 食品衛生に関わる行政の役割や製造者の役割を自分たちの生活と関連付けながら理解している。 (知識・技能)	
	○食品衛生に関わる製造者の役割について理解する。	・ 実際に製造者のずさんな衛生管理によって起こった食中毒事件について映像を用いながら説明する。		
		・ HACCP について、図を示しながら説明する。		
	普段、食品を選ぶ時に食品表示を見ていますか？			
	・ 食品表示の活用の仕方や消費者の役割について理解する。	・ 普段、自分が食品を選ぶ時に何を基準にしているかを考えさせる。その上で、食品表示には何が記載されているかを説明する。	・ 安全な食品を選択するための消費者の役割を理解した上で、与えられた資料から必要な情報を読み取ったり、選んだりできている。 (思考・判断・表現)	・ 観察 ・ ワークシート
	・ 実際の商品の食品表示を読み取り、安全な食品の選び方について話し合う。	・ 実際の商品表示を用いて、安全な食品を選ぶ上で大事な情報は何かをグループで話し合わせ、代表に発表させる。		
まとめ 5分	・ 本時のまとめを聞く。	・ 本時のまとめを説明する。		